

## 吹田市商工業振興対策協議会 議事録

- 1 開催日 平成30年8月23日(木)
- 2 開催場所 吹田市文化会館 メイシアター 3階 第一会議室
- 3 開催時間 午後1時30分から午後3時30分
- 4 出席委員 佐竹委員、井上委員、石川委員、好見委員、山口委員、浦部委員、村口委員  
福家委員、森田委員、平岡委員、細見委員
- 5 欠席委員 橋本委員、田中委員
- 6 出席職員 畑澤部長、熱田次長、奥山室長、大音参事、神堀主幹、宮崎主査、渡辺係員  
西村係員
- 7 傍聴者 2名
- 8 配付資料(事前送付)
  - (1) 次第
  - (2) 資料集
    - 資料番号1 . . . . . 吹田市商工業振興対策協議会委員一覧
    - 資料番号2 . . . . . 企業立地促進条例等の改正について
    - 資料番号3 . . . . . 生産性向上特別措置法に基づく中小企業者支援について
    - 資料番号4 . . . . . 訪問企業情報のデータベース化について
    - 資料番号5 . . . . . 吹田市商工振興ビジョン2025について
    - 資料番号6 . . . . . 吹田市商工振興ビジョン2025の推進について
    - 報告資料1 . . . . . 国の統計調査結果に基づく本市の産業の現状について
    - 報告資料2 . . . . . 産業競争力強化法に基づく創業支援事業に係る平成29年度事業実績報告及び平成30年度事業実施状況について
    - 報告資料3 . . . . . 吹田市商工業振興対策協議会(2018.4.25)への意見への回答について
    - 参考資料1 . . . . . 吹田市産業振興条例
    - 参考資料2 . . . . . 吹田市商工業振興対策協議会設置要領
- 別冊資料 吹田市商工振興ビジョン2025(新規委員のみ)

## 9 会議内容（発言要旨）

### ＜吹田市商工業振興対策協議会委員紹介について＞

事務局側から委員任期が平成 30 年 7 月 1 日から平成 32 年 6 月 30 日までであることの説明と各委員から自己紹介があった。

### ＜案件（1） 企業立地促進条例等の改正について＞

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） 企業立地促進条例等を改正されたとのことだが、改正前の制度の利用件数、金額、経済効果について教えてほしい。

（事務局） 改正前の状況は、認定件数は 4 件、奨励金を交付したのは 3 件であった。ズレが生じているのは、課税が始まってから交付が始まるからである。例えば、平成 28 年に認定を受けた企業は平成 29 年 1 月 1 日に保有している償却資産に対して交付されるので 1 年度ズレが生じる。交付金額としては、800 万円ほどである。改正後も認定を進めており、交付までは至っていないが現在 6 件の認定に達している。経済効果に関しては詳細なデータはないが、本条例の適用申請の際に事業計画書を提出してもらっている。その計画の中で、5 年の期間でどのような売上が見込めるか等を詳細に聞いている。

（委員） 詳細なデータがないのはやむを得ないが、今後データが集まってくれば報告をしてほしい。

### ＜案件（2） 生産性向上特別措置法に基づく中小企業者支援について＞

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） この制度は中小・零細企業には使いづらいイメージがある。地元の中小・零細企業がこの制度を利用する際の相談先として商工会議所をあげているが、吹田市では相談を受け付けていないのか。

（事務局） 市役所の窓口としては地域経済振興室で受付している。

国の補助金における優先採択で、ものづくり補助金の優先採択を受けるためには事業者が計画を立てる必要があるが、IT 補助金等に関しては吹田市が導入促進基本計画を策定していれば吹田市内の事業者は認定を受けていなくても優先採択を受けられるため、事業者に計画を立ててもらわなくてもよい内容となっている。

（委員） どのくらいの相談があったのか、申請件数、広報手段は。

（事務局） 開始以降の申請を受け、計画認定した件数は 7 件、現在計画認定の相談を受けている件数が 2 件、この相談 2 件については来月あたりに申請の見込みである。制度に関しては、市の

ホームページやメールマガジンで周知を図り、商工会議所の協力を得て説明会を行った。

(委員) 申請 7 件のうち、一番小規模な事業者はどのような規模だったか。

(事務局) 7 件のうち、従業員数 10 人以下の小規模事業者から 2, 3 件の申請があった。

(委員) 制度の内容を充実させることは可能なのか、制度の今後について教えてほしい。

(事務局) 国の施策であるため市の特色は出せない。このままの形で 3 年間継続する予定。

(委員) 先端設備等導入計画の認定を受けても固定資産税の特例措置が受けられない事業者があるということか。

(事務局) そのとおりである。固定資産税の特例措置がなくても、国の補助金の優先採択を受けたい事業者は計画を立てるメリットがあるが、導入設備によっては認定を受けられても固定資産税の特例措置が適用されない事業者はある。

(委員) その場合、先端設備等導入計画の事業に必要な資金の支援と補助金における優先採択は適用されるということか。

(事務局) その通りである。

#### < 案件 (3) 訪問企業情報のデータベース化について >

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(委員) 取組自体は非常に良い事だと思う。報告の中でもあったが、その他の業種が多すぎる。もう少し細分化した方がいい。また個人事業主の数が多いがこの個人事業主をもう少し調査をした方がいいと思う。その点についてどうお考えか。また今回の訪問先をどのように決定しているのか教えてほしい。

(事務局) その他の業種は今後日本標準産業分類の大分類に併せて分類を行っていく。データベース化を行うことで見えてこなかった訪問先の偏りが分かった。今後も小規模事業者も含めバランス良く訪問をしていく。訪問先の選定の仕方は、新規の場合はニュースや新聞、補助金の申請者など色々な媒体を用いて見つけている。また既存訪問先も時間が経つと経営状況の変化があることから、2 年毎ぐらいで再訪問を行っている。

(委員) データベース化の話は興味深く聞いた。50 代からの起業も増えていると聞き、市を発展させる一翼を担うことに期待している。消費者側の立場から勉強もさせてもらいたいと思う。

(委員) 訪問企業データベースには有用性を感じる。今後もデータ充実に努めてほしい。

(会長) データベースは公開されているのか。

(事務局) 今のところされていない。

(委員) 訪問企業データベースについて、元々吹田の企業はものづくりが弱いという点から製造業を主なターゲットとしていたのではないか。元々の趣旨から外れていないか。

(事務局) 当初はものづくり企業が主であったが、過去の当協議会にて幅広い業種への訪問を行うようにとの意見をいただいていた事もあり、現在は幅広い業種への訪問を行っている。

<案件(4) 吹田市商工振興ビジョン2025について> 及び <案件(5) 吹田市商工振興ビジョン2025の推進について>

事務局側から資料説明の後、次の意見があった。

(委員) 吹田市商工振興ビジョン2025の充実に役立つような調査をしてほしい。

(委員) 吹田市商工振興ビジョン2025を読んで、着実に成果が上げられているという風を感じている。特に吹田商工会議所、吹田経営革新支援センターを通して開業率が上がっているなのでこの調子で取り組んでいただきたいと思っている。

(会長) 開業率は全国的に増える傾向にある。年金支給年齢が上がる関係で50代の起業も多い。女性の起業も多いが、若者はあまり増えていない。

(委員) 地域経済の新たな担い手の創出に関して、吹田商工会議所の行う創業塾や、吹田市が行う女性創業塾で講師をしているが、実務の場を肌で感じる身としては、吹田市は創業者へのサポート体制が継続してしっかりしていることが数字の向上に大きく影響しているのではないかと思う。

<報告(1) 国の統計調査結果に基づく本市の産業の現状について>

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(会長) 吹田市の開業率について、廃業率の数字を過去は上回っていたことはすばらしい。昨年は開業率が減少しており残念である。

(委員) 吹田市の地域特性を考慮するともう少し、開業率は良いものかと思っていた。

(事務局) 今回の調査結果としては、全国的に見ても廃業率が上回っている自治体がほとんどであった。

<報告(2) 産業競争力強化法に基づく創業支援事業に係る平成29年度事業実績報告及び平成30年度事業実施状況について>

事務局側から資料説明を行った。意見・質疑等はなし。

<報告(3) 吹田市商工業振興対策協議会(2018.4.25)への意見への回答について>

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(委員) 創業支援型事業所賃借料補助金の創業計画の認定の基準を知りたい。

(事務局) 補助金申請者には事業計画、創業動機等を書類に記入していただき、認定会議で委員4名の前でプレゼンテーションを行ってもらっている。その書類とプレゼンテーションの内容が審査対象である。

(会長) 金額の枠があるのか。

(事務局) その通りである。

(会長) 一般的な選定基準で言うと「事業性」「社会性」「革新性」がある。その時の申請件数によって良い計画であっても不認定となってしまうと思うので、予算の枠を増やせるのであれば増やしてほしい。

案件の報告終了後、各委員より次の意見、質疑があった。

(委員) 商工ビジョンに沿って、計画を順調に進めておられるのは素晴らしい。また開業率も全国で高い水準を保っているなのでこの調子で取り組んでほしい。

(委員) 吹田市の為に誠意を持って取り組んでおられる姿勢は評価できる。

(委員) 市の施策、制度はたくさんあるが、それを活用する企業が自ら努力しなければ、施策に支援してもらおうことが身につかないと思った。

中小企業家同友会としても吹田市の黒字企業を増やしていくために努めていきたい。

(委員) 商店街の小売店として、一般消費者の一番近くにいる者として、資料に基づいて何か希望することがあればその際はよろしく願います。

(委員) 自分の役目として、周りのこういったことに縁のない方々に指針になればと思う。

<その他 について>

事務局側から、次回開催日程が 11月1日(木)となる旨の連絡があった。